



主要な農作物の生育情報

令和7年度 第3号

(令和7年6月10日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稻

水稻の移植作業は、始期が平年並の5月8日、盛期が平年より1日遅い5月16日となりました。

6月3日現在の農業総合センターにおけるコシヒカリの生育調査では、平年に比べて、本部（郡山市）は草丈が並、茎数が多く、主稈葉数が0.2葉多くなっています。会津地域研究所（会津坂下町）は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.6葉少なくなっています。浜地域研究所（相馬市）は、草丈が平年並、茎数が少なく、主稈葉数が0.3葉少なくなっています。

表1 農業総合センターにおける水稻の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月・日)	6月3日調査		
			草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	主稈葉数 (枚)
本 部	コシヒカリ	5.15	24.7 (99%)	150 (118%)	5.3 (+0.2)
	ひとめぼれ	5.15	22.6 (99%)	152 (101%)	5.3 (+0.1)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	24.8 (97%)	121 (94%)	4.9 (-0.6)
	ひとめぼれ	5.20	22.0 (93%)	116 (87%)	4.7 (-0.9)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	27.7 (101%)	227 (97%)	5.5 (-0.3)
	ひとめぼれ	5.10	24.8 (101%)	227 (86%)	5.6 (-0.3)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2020～2021, 2023～2024年)、それ以外では前5年平均(2020～2024年)との比較

2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の成熟期は、平年並から遅くなりました（平年差±0日から+9日）。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県中地方の露地栽培は、平年並の5月中旬から定植が行われています。5月下旬の低温の影響で一部生育の遅れが見られています。病害虫は、アブラムシ類、アザミウマ類、カメムシ類の発生が見られています。また、一部で黒星病の発生が見られています。

県北地方の雨よけ栽培は、平年並の4月中旬から定植が行われ、5月中旬より収穫が開始され、生育は順調に進んでいます。病害虫は、アブラムシ類の発生が見られています。

2 トマト

県南地方では、平年並の4月下旬から5月上旬にかけて定植が行われました。低温等の影響により、活着の遅れ等が見られましたが、現在は概ね順調に生育し、平年並の6月中旬から出荷開始となる見込みです。南会津地方では、5月下旬から定植が行われています。育苗期の低温により、初期生育はやや遅れていますが、気温の上昇に伴い、回復が見込まれます。

3 さやいんげん

県中地方では5月中旬から定植が行われています。会津地方の防虫ネット栽培では4月下旬から定植が行われています。5月上旬は雨が多く、5月下旬は気温も低かったことから、生育はやや遅れが見られています。

病害虫は、一部のほ場でタネバエや菌核病の発生が見られています。

4 ピーマン

県中地方のトンネル栽培は、平年並の4月下旬から5月上旬にかけて定植が行われ、定植後の低温等によりやや活着の遅れが見られましたが、現在は概ね順調に生育しています。露地栽培は、5月下旬から定植が行われています。

5 春ブロッコリー

県南地方では5月上旬より収穫が開始され、5月下旬～6月上旬に出荷ピークを迎えています。相双地方では、5月下旬より収穫が開始され、6月上旬に出荷ピークを迎えています。

気温上昇に伴い、チョウ目害虫が見られ始めています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月2日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が40.7 mm（平年比115%）、側径が35.2 mm（平年比124%）で平年より大きく、「ゆうぞら」は縦径が42.8 mm（平年比121%）、側径が31.8 mm（平年比121%）と平年よりかなり大きい状況です。

満開後日数で比較すると、両品種とも平年よりやや大きくなっています。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が22.1 mm（平年比100%）、横径が26.4 mm（平年比106%）でおおむね平年並、「豊水」は縦径が26.9 mm（平年比111%）、横径が29.0 mm（平年比116%）と平年より大きい状況です。

満開後日数で比較すると、両品種ともに平年並です。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が30.4 mm（平年比100%）、横径が31.7 mm（平年比102%）で平年並、「ふじ」は縦径が31.0 mm（平年比110%）、横径が28.0 mm（平年比108%）と平年よりやや大きい状況です。

満開後日数で比較すると、両品種とも平年並となっています。

4 病虫害の発生

果樹カメムシ類の発生が平年に比べて多い地域があります。また、モモせん孔細菌病、ナシ黒星病の発生が確認される地域があるため、梅雨期に向けて果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における耕種的防除や防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 キク類

8月咲きは、4月中旬から下旬にかけて定植作業が行われ、4月下旬から5月上旬にかけて摘心作業が行われました。生育は順調に進んでいますが、一部では5月の低温により前年より草丈が短く、葉数が少ない所があります。

9月咲きは、5月中旬から5月下旬にかけて定植作業が行われ、その後順次摘心作業が進められています。

病虫害は、一部地域でアブラムシ類、アザミウマ類、ハモグリバエ、白さび病が発生しています。

2 リンドウ

生育は、8月盆及び9月彼岸のいずれの作型でも、概ね平年並の草丈と葉数となっています。一部の融雪が遅れた地域では、草丈の短い様子が見られますが回復しつつあります。一部の生育の旺盛な品種を中心に葉先枯れが出始めています。また、早い地域では6月上旬に早生系統の品種が上位側芽発生期となっており、そのほかの地域でも徐々に早生系統において上位側芽の発生が見え始めています。

病虫害は、一部地域でアザミウマ類、リンドウホソハマキ、葉枯病、黒斑病が発生しています。

【飼料作物】

牧草は順調に生育しています。一番草は5月中旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。収量は概ね平年並となる見込みです。

飼料用トウモロコシは4月下旬から始まった播種作業がほぼ終わり、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>